



有限会社 フカウミ
代表取締役
ふかうみ たかよし
深海 隆義 さん

R7.4 ～ 新潟県商工会議所青年部連合会 会長

Interview これからのものづくり

ものづくりの担い手として
感じていることや「燕市の
未来」の展望について、市
内で製造業を営む深海さん
に伺いました。



特集

燕市を世界の ものづくりの拠点に

燕で働いていると、特に若い人たちの「ものづくり」に対するイメージがあまり良くないと感じる
ことがあります。過酷な労働環境
や前時代的(古い)といったイメ
ジが真っ先に思い浮かび、心理的
に敬遠されてしまっている部分が
あるのではないのでしょうか。
ですが今、燕の企業は大きな変
化を遂げています。職場環境はよ
り働きやすく改善が進み、デジタ
ル技術の導入や地球環境への配
慮、年間休日の増加、人材育成の
研修が積極的に行われています。
直近でも、若手人材の確保に向け
た新たなプロジェクトが発足し、
成果をあげるなど多くの取り組み
が進められ、着実に進化している
と実感しています。

シンカする燕の企業

燕から日本全国、
そして世界中へ
今後は、今よりもさらに未来を
見据えた新たなビジョンと変化が
求められる時代だと感じしていま
す。例えば、異業種のクリエイティ
ブな人材の受け入れ、SNSやI
T分野の活用などを積極的に行
い、燕が長く培ってきた技術と融
合することで、これまでになかつ
た新たな価値を生み出すことが求
められていると感じています。
私は、燕のものづくりは無限の
可能性を秘めていると思っています。
す。今後も燕の企業は互いに連携
しながら、新たなチャレンジを続
けていきます。燕から日本全国へ、
そして世界中へ「ものづくりの拠
点・燕」と認識してもらえよう、
発信を続けていきたいです。



若手俳優たちに "ものづくり"のまち燕市を紹介！

令和6年8月、燕市が目指す
「持続可能なまちづくり」の取
り組みを描いたオリジナルドラ
マの撮影を敢行。

ロケの合間、燕市の産業の歴
史や技術に肌で触れた若手俳優
陣。深海さんとも意見を交わし、
燕市の産業のこれからの思いを
馳せました(詳細は7ページを
ご覧ください)。

俳優陣が市内を巡る
Vlogはこちらから▶



私の卒業
たからもの

「ものづくりのシンカと燕の未来」

"ものづくり"のまちとして知られている燕市を支えているものは、
長い歴史と卓越した技術を誇る金属加工を中心とした市内企業です。

今日に至るまで、戦争やオイルショックといった時代の変化に幾度と
なく直面しながら、その都度、事業転換を行うなどニーズに適応し、シ
ンカを続けてきました。

今後も、人口減少や気候変動などに伴う新たな課題に対応し、先人た
ちが築いた"ものづくり"のまち燕市を未来につないでいくため、さら
なるシンカを目指す市内企業と市の新たな取り組みを紹介します。

